

院内製剤及び適応外薬の医療行為への使用について

院 長

当院では「院内製剤」と「適応外薬」について下記のとおり使用しております。

院内製剤・・主に保険医薬品ではないが医療上必要とされ、医学会のガイドライン等に
従い病院内において医師の申請により薬剤師が調製する製剤であり、それぞれ
の医療機関内ですべて消費されるものをいいます。（保険医薬品を混和するな
どして剤形を変更するものも含まれます。）多くの病院で使用実績があり有効
性・安全性は確認されております。

適応外薬・・医薬品として薬事承認（保険適応）されているものの、特定の効能・効果等につ
いては、薬事承認されていないものをいいます。医学会のガイドライン等に
従い使用します。多くの病院で使用実績があり有効性・安全性は確認されて
おります。

診療の際、別紙「院内製剤」「適応外薬」を使用する旨の説明書、または承諾書により患者さん
の同意を頂く場合があります。承諾書を用いない製品はこの掲示により同意を頂いたものとさせ
ていただきます。ご不明な点は受診科の医師にお尋ねください。

院内製剤及び適応外使用の医療行為への使用について一覧

(製)：院内製剤 ★：院内掲示による承諾

薬剤名	内 容	症 例
希釈ボスミン液 (製)	消化管出血に対して純エタノールあるいは高張食塩水エピネフリンなどの局注、エピネフリン添加生理食塩水の散布など	消化管出血
ルゴール液 (製)	内視鏡による食道観察時にヨード染色	内視鏡検査時
滅菌墨汁 (製)	大腸の腫瘍性病変に対して滅菌墨汁による点墨	大腸腫瘍性病変
ピオクタニン液 (製)	大腸の腫瘍性病変に対してクリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	大腸腫瘍性病変
VBS 吸入液 ★ (製)	V B S 吸入液の院内製剤使用	ネブライザー
散瞳混合薬 ★ (製)	白内障術前 2 時間前から術前散瞳目的で散瞳混合薬を 20 分おきに点眼	白内障手術
自己血清 ★ (製)	重症ドライアイ患者に対して自己血清点眼液を院内製剤し処方	重症ドライアイ
HGX うがい薬★ (製)	HGX うがい液の使用	化学療法施行中の口内炎
トロンビン ★ (製)	トロンビン・フランセチンパウダーの使用	子宮腔部びらん面からの出血
フランセチン★ (製)		
3%酢酸液 ★ (製)	「3%滅菌酢酸液」の使用	コルポスコピー
リファンピシ液 (製)	心臓手術に 0.1%リファンピシ液の使用	心臓手術
S A D B E 液 (製)	脱毛症に S A D B E 液の使用	脱毛症
グルタルアルデヒド液 (製)	心臓手術に 0.6%グルタルアルデヒド溶液の使用	心臓弁膜症
ピオクタニン液 (製)	乳癌手術の際、クリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	乳癌手術
ピオクタニン液 (製)	頸部手術の際、クリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	頸部手術
ピオクタニン液 (製)	心臓手術の際、クリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	心臓血管手術
ピオクタニン液 (製)	脳血管吻合手術の際、クリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	脳血管吻合手術
ピオクタニン液 (製)	消化管手術の際、クリスタルバイオレット（ピオクタニンブルー）による染色	消化管手術

(適)：適応外使用

薬剤名	内 容	症 例
リピオドール (適)	肝細胞癌に対しリピオドールを用いた肝動脈塞栓術	肝細胞癌
無水エタノール (適)	食道・胃静脈瘤に対し無水エタノールを用いた硬化療法	食道・胃静脈瘤
無水エタノール (適)	消化管出血に対して純エタノールあるいは高張食塩水エピネフリンなどの局注、エピネフリン添加生理食塩水の散布など	消化管出血
カナマイシン (適)	肝性脳症に対し腸管非吸収性抗菌薬投与	肝性脳症
アデホス注 (適)	「アデホス注」の肺静脈隔離（心房細動アブレーション）での再伝動の評価	肺静脈隔離
ピシバニール注 (適)	難治性気胸に対してピシバニールによる胸膜癒着	難治性気胸
イントキサン注 (適)	免疫抑制剤による間質性肺炎の治療	間質性肺炎

2021.4

以降は、「医療安全管理室」内の「承認されている医療行為一覧」に掲載されております。

<https://www.mmc.funabashi.chiba.jp/safety/3.html>